

平成 13 年度通信関連業実態調査報告書正誤表

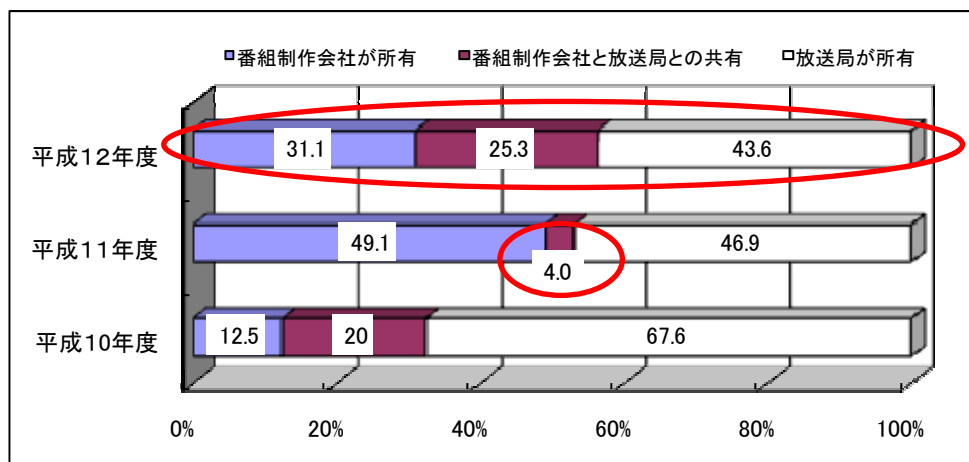
P. 13

(正)

- ◆テレビ番組の二次利用権では、「番組制作会社が所有」と「放送局が所有」が減少し、「番組制作会社と放送局との共有」が大きく増加している。

図 I-5-3 : 二次利用権の所在

「単位：構成比%」H12 n=188、H11 n=74、H10 n=135

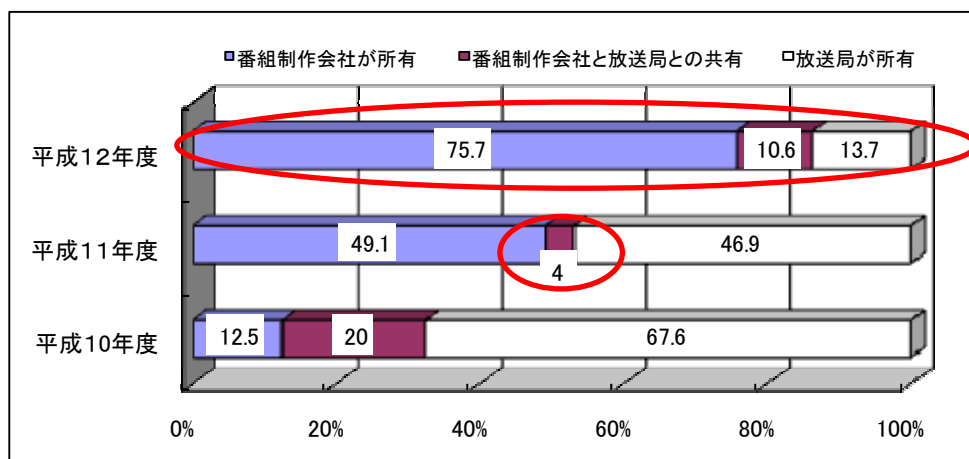


(誤)

- ◆テレビ番組の二次利用権では、「放送局が所有」が大きく減少し、「貴社が所有」が75.7%と最も多く、「貴社と放送局との共有」と合わせて86.3%を占めている。

図 I-5-3 : 二次利用権の所在

「単位：構成比%」H12 n=188、H11 n=74、H10 n=135



(正)

(2) 著作権の所在

平成12年度に制作したテレビ放送番組（CMを除く）制作の契約における著作権（著作財産権）の所在をみると、放送権では「放送局が所有」が68.1%で最も多く、次いで「貴社が所有」の16.6%の順になっている。一方、二次利用権では「放送局が所有」が43.6%で一番多く、次いで「貴社が所有」が31.1%の順になっている。

前回調査との対比では、放送権では「貴社が所有」と「放送局が所有」が減少し、「貴社と放送局との共有」が増加している。また、二次利用権では「貴社が所有」と「放送局が所有」が減少し、「貴社と放送局との共有」が大きく増加している。

表 I-5-(2)：著作権の所在状況

「単位：本、%」今回調査n=188、前回調査n=74

著作権所有区分	放送権	構成比（前回）	二次利用権	構成比（前回）
貴社が所有	2,676	16.6(23.7)	1,888	31.1(49.1)
貴社と放送局との共有	2,475	15.3(5.1)	1,540	25.3(4.0)
放送局が所有 〔2年未満 2年以上 無制限 (期限明記なし) 合計	1,290	8.0(9.4)	296	4.9(3.4)
	2,279	14.1(4.7)	595	9.8(4.3)
	7,412	45.9(57.0)	1,760	29.0(39.2)
合計	10,981	68.1(71.1)	2,651	43.6(46.9)
合計	16,132	100.0(100.0)	6,079	100.0(100.0)

(誤)

(2) 著作権の所在

平成12年度に制作したテレビ放送番組（CMを除く）制作の契約における著作権（著作財産権）の所在をみると、放送権では「放送局が所有」が68.1%で最も多く、次いで「貴社が所有」の16.6%の順になっている。一方、二次利用権では「貴社が所有」が75.7%で一番多く、次いで「放送局が所有」が13.7%の順になっている。

前回調査との対比では、放送権では「貴社が所有」と「放送局が所有」が減少し、「貴社と放送局との共有」が10.2%増加している。また、二次利用権では「放送局が所有」が35.9%減少し、「貴社が所有」が26.6%増加している。

表 I-5-(2)：著作権の所在状況

「単位：本、%」今回調査n=188、前回調査n=74

著作権所有区分	放送権	構成比（前回）	二次利用権	構成比（前回）
貴社が所有	2,676	16.6(23.7)	13,452	75.7(49.1)
貴社と放送局との共有	2,475	15.3(5.1)	1,888	10.6(4.0)
放送局が所有 〔2年未満 2年以上 無制限 (期限明記なし) 合計	1,290	8.0(9.4)	1,540	8.7(3.4)
	2,279	14.1(4.7)	296	1.7(4.3)
	7,412	45.9(57.0)	595	3.3(39.2)
合計	10,981	68.1(71.1)	2,431	13.7(46.9)
合計	16,132	100.0(100.0)	17,771	100.0(100.0)

(正)

ア 会社全体の売上高

平成12年度と平成13年度の売上高の対比をみると、ごくわずかであるが0.4%の増加を見込んでいる。一方、前回調査との対比をみると、1社当たりの平均売上高実績で64.5%も減少している。

(誤)

ア 会社全体の売上高

平成12年度と平成13年度の売上高の対比をみると、ごくわずかであるが0.4%の増加を見込んでいる。一方、前回調査との対比をみると、1社当たりの平均売上高実績で65.5%も減少している。